

# 被災地への 支援活動の報告

## 医療支援チームの派遣



市立根室病院  
上野 智子 医師

### 派遣者

#### 市立根室病院

上野 智子 医師  
加藤 芳美 主任看護師  
北村 望美 看護師  
池端 昭一 主査  
松永 裕 技術員

### 災害医療支援チーム第1陣

4月22日～28日 宮城県気仙沼市

東日本大震災の被災者救援のため、宮城県気仙沼市に医療救護班として、医師1名、看護師2名、事務職2名の計5名で派遣され、避難所での医療救護活動を行いました。

本吉地区を中心に、小泉中学校、大谷公民館で定点診療を行い、浜区多目的集会所、寺谷コミュニティセンター、旧津谷川小学校、そして、岩手県の室根交流促進センターでの巡回診療を行い、39名の被災者を診療しました。

主に、風邪や腰痛、いつも服用している薬が無くなったなど、比較的病状の軽い高齢の方が大半でしたが、長い避難所での生活は、大きなストレスと苦痛をもたらしているようです。

本吉地区は開業医が不在で、入院施設も無くなってしまったため、今後、地域医療の継続が課題となっていると感じました。



大谷公民館で診療にあたる上野医師（平成23年4月26日）



本吉地区での医療班ミーティング（平成23年4月25日）

### 災害医療支援チーム第2陣

5月27日～6月2日 宮城県気仙沼市



狭いスペースの避難所生活にストレスも（平成23年5月29日）



松岩地区の道路確保のがれき撤去作業（平成23年5月28日）

私たち第2陣は、宮城県気仙沼市にある松岩地区の松岩公民館での定点診療と、岩手県の本吉広域防災センターの2か所の避難所の医療支援を行ってきました。

主に、松岩公民館での医療支援でしたが、高血圧、糖尿病などの慢性疾患から、腰痛、膝痛などの整形的ニーズや震災後不眠に悩む方など、多岐にわたっていました。

被災地への派遣時は、震災から2カ月以上経っており、気仙沼市内の医療機関は7割ほど復旧している状況となってはいましたが、避難所から医療機関への交通手段が、まだ整備されていない状況にありました。

医療支援が縮小されていく状況で、被災された方の健康管理が、今後一番の課題であると感じました。



市立根室病院  
本間 賢太 医師

### 派遣者

#### 市立根室病院

本間 賢太 医師  
宮部 真由美 主任看護師  
吉田 由香理 看護師  
成田 真吾 主査  
鈴木 大喜 技術員